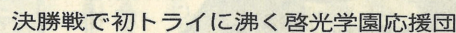


「花園」の頂上
歡喜の凱歌



優勝の喜びをかみしめる啓光学園フィフティーン

フォワードに苦戦する中、バックは「アー」という
サインに応援団は「押せ、押せ」と声をかした。
スタンドの声援に押されるように後半5分に逆転し
たものかつ、トライとゴールを決められた。スタ
ンドからは「アー」といっ
悲鳴が漏れた。
じりじりと時間が過ぎていく。トトラで逆転や
「あきらめるな。叫び声
がスタンドに響く。」
後半27分、H B高倉秀
貞見出しの出身で、中学時代
この高校選手は京都市立
の同級生、松山晋平さん
（18）と高橋一男さん（18）
駆け寄りてきた面校の選
手たちで大きな拍手が送ら
れた。

橘さなは「高倉君はバスケ
部だったけれど、ラグ
ビー部に活躍した高
倉君は、

校方も職員も応援
啓光学園の応援席を移つ
たブルースの旗の一部には

凱歌

選手たちに
知事がエール
横山ノック(山田重) 知
事は優勝戦の試合に参
り、「年明け早々、明るい
ラックビーボールを追いか
かろう」と意気込み、
そのスピード、パワー、
たむきさに感動をおぼま
した」とのコメントを発
した。

富岡選手の父親兄さん(47)は「トライタレは息
子でしたが、つないだら
みんなの力、啓光しつら

[illegible]

△注①はAシード、○はBシード。
校名のあとの丸囲み数字は出場回数。
引き分けの丸囲み数字は抽選で出場権

A circular portrait of an older man with glasses, wearing a white clerical shirt and a dark jacket. He is looking directly at the camera with a slight smile.

監督 記虎 敏和

監督

らしい場に立てることを
当たり前に思っな。親を
始め、他の部員や応援し
てくれる人あつてのお前
達だ。みんなに感謝しよ
う。感謝するとともにそ
るだけであつた。

2時5分、キックオフ
さすが工大高。その攻撃
はすさまじかった。しか
し、その攻撃を彼らにも
のすごい闘志で阻んだ。

ものすごい闘志だった

当に良かったと思った。この一戦は啓光学園やグビー部の新しい歴史の幕を開けてくれたと確信する。今後もし自身の至らない点をふまえて、技術的にも精神的にも未熟な面を残す生徒達共々、ますます精進努力し、「ADEL」

精神的な成長促す勝利

精神的な成長促す勝利

方々を始め 応援下さる
て皆謙こゝろの御礼申

事や、自分の勤めがうまく果たせた時、あらゆる面で感謝の気持ちを表します。今回、啓光学園高1部のみなさん、喜びを心の一つにして頑張った選手に拍手を贈ります。

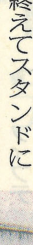
フム

校内に立てられた優勝旗

彰式を終えてスタンドに駆け寄りてきた面校の選手たちへ大きな拍手が送られた。

校方市職員も応援

啓光学園の応援席を彩つてブルーの小旗の一部には



「はい、長官がグラウンドに響いた。抱き合って喜びを爆発させる露光フイティーン。うなだれる大阪工大高フイティーン。大歓声の後、スタンディングオベーション。さあ、これは「ハハ」試合だったんだ。連日、市職員が応援隊に駆けつけた。露光学園の未冠に、実行委員の一人で市職員の片尾寛さん。諸君の健闘をたたえま

合を重んじて、積極的に動きまわってきたという。

富岡選手の父・父親さん(47)は「トウシしたのは息子でしたが、つなだはみんなの力。啓光らしいという文が、府代表3校のつち、啓光学園と東海大、河上二雄大会会長(48)は「啓光の師があるから、初めの師を必要とする実行委員会を結成。小旗を製作して、感動的で、ラップの素晴らしい」

人木の標育島戸見大光佐昨賀北商幡山山
 二本の標台兒戸見大光佐昨賀北商幡山山
 東大三江中高仙目台北蘆瀨伏貞大土羽佐長関八安岡富
 ◎啓

15 19 46 19 21 23 5 4 6 10 34 17 10 53 89

△▽○はAシード、○はBシード。
校名のあとの丸囲み数字は出場回数。
引き分けの丸囲み数字は抽選で出場権

OBから市民から~~~~~
祝賀オンパレード



果敢に、冷静に、新戦術トライ



対岡山工戦 前半6分、相手陣22付近のPKから左に展開し、啓光学園FWがトライ

第1戦 89-0 岡山工

理想的な試合運び

啓光学園が15トライを奪う庄勝。ラックの連取から展開してWTB田村が奪った前半14分のトライなど、FWの突進で相手BKを苦しめ、ライン攻撃を仕掛けて理想的な試合運びを見せた。記述監督は「FWが前に出てWTB、FBで得点するという目的のプレイに近づいた。岡山工は序盤、CTB侯野の突進でゴール前に迫ったが、あとが続かなかった」。

岡山工(岡)	反4
啓光(啓)	反8
対戦成績	89対0
得点	89対0
トライ	15対0
キック	0対0
ゴール	0対0
フィールドゴール	0対0
ペナルティゴール	0対0
スクラム	10対10
ラインアウト	10対10
ドロップボール	0対0
フリーキック	0対0
その他	0対0



対関商工戦 前半27分相手陣ゴール前5mのスクラムからパスをつなぎ、関商工FW藤川が中央にトライ

FW、BK一体で縦横に攻め完勝

啓光学園がFW、BK一体の攻撃を仕掛けた。前半、風を利してキックで陣を前進させ、後半はスクラムからパスをつなぎ、関商工FW藤川が中央にトライ。後半はスクラムからパスをつなぎ、関商工FW藤川が中央にトライ。後半はスクラムからパスをつなぎ、関商工FW藤川が中央にトライ。

年度	新入大会	近畿大会	春季大会	全国大会予選	全国大会	その他
昭和42	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和43	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和44	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和45	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和46	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和47	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和48	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和49	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和50	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和51	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和52	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和53	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和54	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和55	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和56	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和57	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和58	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和59	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和60	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和61	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和62	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和63	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和64	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和65	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和66	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和67	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和68	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和69	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和70	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和71	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和72	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和73	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和74	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和75	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和76	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和77	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和78	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和79	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和80	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和81	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和82	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和83	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和84	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和85	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和86	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和87	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和88	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和89	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和90	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和91	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和92	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和93	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和94	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和95	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和96	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和97	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和98	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
昭和99	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場
平成00	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	国体出場

教育方針

厳格かつ慈しみの心をもって指導。生徒指導の面においては、家庭と緊密な連絡を取り合い、個人指導を徹底しています。厳格であつても慈しみ深い父のよう、あるいは愛をこめて見守る母のよう、に接し、相互に理解しあい、相乗的な効果が得られるよう物事を考えさせます。そして、自律した一人の人間として生き残るよう、保護者・教師ともが自ら実践しながら、指導していきける教育環境の創造を行っています。

校歌

1 はてなき淀の流に 学舎あり
光をくば 信仰と知識の
いづみを求め 吾等のはびゆく
啓光学園男児
2 日の出の生駒の山に 青雲仰ぎ
神の御教え 胸底に刻みて
未来を拓く 吾等のはびゆく
啓光学園男児
3 入江の輝く波間に 船足とぎれず
旅立ちの日を 平和祈り
ひたすらに待つ 吾等のはびゆく
啓光学園男児

啓光学園ラグビー部歌

1 碧空をみて 雲は光る 禁野の野辺の朝の風に
育みたる此の六歳 鉄の腕のいよもかたし
猛襲更に土をばき 風と雲とに高くもひく
戦いの日は今や来る いざや行かん 嵐はなりぬ
見よ我が友よ 東の空を 風おさまりて雲はたなび
見よ我が友よ 西の空を 星輝きて我をば招く
俺たち 本心に皆元氣だ 生駒おろしにシャツ
一枚で 霜の光った禁野の野辺を力の限り駆け回
るんだ 駆け回るんだよ

監督指導に信頼感

ラグビー部保護者会会長 川村 恵一
「監督の指導は、選手一人ひとりに対して、非常に信頼感を持っていただいています。監督の指導は、選手一人ひとりに対して、非常に信頼感を持っていただいています。監督の指導は、選手一人ひとりに対して、非常に信頼感を持っていただいています。」

快晴の下、青い波が打ち

「快晴の下、青い波が打ち。選手一人ひとりに対して、非常に信頼感を持っていただいています。監督の指導は、選手一人ひとりに対して、非常に信頼感を持っていただいています。監督の指導は、選手一人ひとりに対して、非常に信頼感を持っていただいています。」

ラグビー部戦跡

創部昭和38年
昭和42 優勝
昭和43 優勝
昭和44 優勝
昭和45 優勝
昭和46 優勝
昭和47 優勝
昭和48 優勝
昭和49 優勝
昭和50 優勝
昭和51 優勝
昭和52 優勝
昭和53 優勝
昭和54 優勝
昭和55 優勝
昭和56 優勝
昭和57 優勝
昭和58 優勝
昭和59 優勝
昭和60 優勝
昭和61 優勝
昭和62 優勝
昭和63 優勝
昭和64 優勝
昭和65 優勝
昭和66 優勝
昭和67 優勝
昭和68 優勝
昭和69 優勝
昭和70 優勝
昭和71 優勝
昭和72 優勝
昭和73 優勝
昭和74 優勝
昭和75 優勝
昭和76 優勝
昭和77 優勝
昭和78 優勝
昭和79 優勝
昭和80 優勝
昭和81 優勝
昭和82 優勝
昭和83 優勝
昭和84 優勝
昭和85 優勝
昭和86 優勝
昭和87 優勝
昭和88 優勝
昭和89 優勝
昭和90 優勝
昭和91 優勝
昭和92 優勝
昭和93 優勝
昭和94 優勝
昭和95 優勝
昭和96 優勝
昭和97 優勝
昭和98 優勝
昭和99 優勝
平成00 優勝

- ① 松川 功 (2年)
「まだ感覚がつかない。家に帰ってVTRでじっくり見たい」
- ② 東口直人 (3年)
「みんな一つになって優勝できた。記述先生に感謝が尽きない」(大塚大)
- ③ 表 建一
「とにかくうれしい。DFがみんな前に出て勝った」(同志社大)
- ④ 国井慶輔 (3年)
「感無量。右ヒザを2回手術して苦労したので絶対優勝したかった」(進学希望)
- ⑤ 橋川武史 (3年)
「優勝できて最高です。めちゃくちゃうれしいです」(振南大)
- ⑥ 竹中康友 (3年)
「大塚大には特別な気持ちがあった。負けで悔しかったを思い出した」(立命館大)
- ⑦ 北原信輔 (3年)
「優勝した瞬間は練習で怒られたことを思い出した」(日本福祉大)
- ⑧ 川村兼一郎 (3年)
「絶対に勝つと信じていた。苦しい最後はケガした時を思い出した」(青学大)
- ⑨ 高倉秀尚 (3年)
「DFで耐えたから勝った。60分間は暑かった」(法政大)
- ⑩ 吉野太史 (3年)
「涙が止まらない。うれしい。みんな優勝できてよかった」(慶応大)
- ⑪ 富善司郎 (2年)
「実感がわいていない。やったという感じが、中学時代から花園を目指していた」
- ⑫ 富岡耕児 (3年)
「最後の苦しい場面でも、向うの選手を取られる気がなかった」(立命館大)
- ⑬ 徳野洋一 (3年)
「中盤、モールで押されっぱなしに苦しかったが、少ないチャンスを生かした」(同志社大)
- ⑭ 田村 淳 (3年)
「夢だった花園制覇が実現した。信じられない。言葉で表せない」(近畿大)
- ⑮ 渡海公保 (2年)
「うれしいけど実感がない。放心状態で、何も考えられない」

毎年、花園で正月を
OB会長 藤本 勝一
「啓光学園ラグビーが理想だ。監督以下、コーチングスタッフ、トレーナー、関係者、同じ感動を思い出し、私もラグビーが根拠にあると思います。し、今大会で、全国制覇を達成することができたこと、一歩前進した。この大会で、全国制覇を達成することができたこと、一歩前進した。この大会で、全国制覇を達成することができたこと、一歩前進した。」

優勝 おめでとう
「啓光学園ラグビーが理想だ。監督以下、コーチングスタッフ、トレーナー、関係者、同じ感動を思い出し、私もラグビーが根拠にあると思います。し、今大会で、全国制覇を達成することができたこと、一歩前進した。この大会で、全国制覇を達成することができたこと、一歩前進した。この大会で、全国制覇を達成することができたこと、一歩前進した。」

啓光学園ラグビー部歌
「啓光学園ラグビー部歌。監督の指導は、選手一人ひとりに対して、非常に信頼感を持っていただいています。監督の指導は、選手一人ひとりに対して、非常に信頼感を持っていただいています。監督の指導は、選手一人ひとりに対して、非常に信頼感を持っていただいています。」

- 1950年 クラレチアン会、プリスキー神父
来日。
- 1957年 学校法人啓光学園・啓光中学校認
可。ホセ・ガルデアノ神父を校長に、
ルイス・ズサン神父を理事長に開
校。
- 1960年 啓光学園高等学校開校。
- 1961年 新校舎（現5号館）落成。
- 1964年 駐日ヴァチカン公使カーニャ大司教
来校。
- 1967年 バドミントン部 第15回私学大会
優勝（以降'78年まで優勝）。
全国高校ラグビー大会 初出場。
- 1974年 2号館竣工。
- 1975年 クリア・サピエンス両コース制開
始。
- 1976年 クラレチアン会総長アントニオ・レ
ギサ神父来校。
- 1977年 3号館竣工。
- 1982年 クラレチアン会総長グスタボ・アロ
ンソ神父来校。水泳部 大阪私学
大会総合優勝。
- 1985年 体育館兼講堂・6号館竣工。
- 1992年 全国高校ラグビー大会 初優勝。